

人権だより 31号 であい



発行 令和5年3月
真備東中学校区
人権学習推進委員会
事務局 倉敷市真備公民館
倉敷市真備町箭田1685
TEL 086-698-0042

であいと交流のまちづくり ～人権を尊重し合う明るく住みよい地域を～



令和4年6月5日(日) 部会(研修部と啓発広報部)、役員会に続いて総会を開きました。対面での開催は3年ぶりです。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、内容をスリムにし、時間短縮を図りました。それでも書面表決とは違い、推進委員の方々と顔を合わせ、生の声を聞くことができ、充実した会となりました。令和3年度事業報告、決算報告及び令和4年度事業計画、予算等について熱心に協議し、過半数の賛成をもって可決承認されました。新型コロナウイルス感染症

の第6波が落ち着いたタイミングでの開催で、今後の状況が全く読めないという不安はありましたが、今年度は感染症防止対策を徹底したうえで、予定している様々な活動や取組を実施し、人権学習の推進を図っていくことを申し合わせました。

しかし、8月に入った頃、第7波がやってきました。今年こそは合同研修視察に行こうと準備を進めていましたが、感染状況を鑑みて、やむなく直前で中止を決定しました。その後、第8波がやってきましたが、その他の活動はおおむね予定通り実施することができ、何とか乗り切ることができました。



令和4年度 人権学習推進委員会 役員・部員・委員 (敬称略)

真備東中学校区

役員	(会長) 黒瀬 正典、(副会長) 若林 久仁子・渡邊 稔子、(監査) 小野 峯子・井上 靖信
啓発・広報部会	(部長) 黒瀬 正典、(副会長) 長吉 由香里、上山 力、武本 堅、小野 峯子、鈴木 智子
研修部会	(部長) 岡村 順子、(副会長) 林 亨、塚本 和男、小西 知子、林 恭子、若林 かすみ
委員	井川 由規、赤木 佑美、田中 あい子、加藤 直仁、奥田 美由紀、柴田 綾、中西 宣佳 林 真由美、横溝 珠実、土井 富子、岩崎 美佳子、木口 卓士、川畑 美佐代、渡辺 康人 守屋 喜章、三宅 徹、田中 浩子、池田 栄一、小早川 祐子、山下 都、森定 ひづる 人権教育推進委員会 副会長 亜由美

事務局員



長安 一徳	真備東中学校	岡田 直利	社会教育指導員
鳥越 保行	川辺小学校	田中 克徳	玉島公民館・啓発指導員
重利 大介	岡田小学校	萩原 節子	指導員・庶務
藤井 浩	菌小学校	河上 順子	指導員
本多 卓郎	事務局長・館長	坂本 秀子	指導員

第1回 人権教育講演会 R4.10.1

福島に想いを寄せて ～原発事故が奪った私たちの暮らし～

津軽三味線奏者 えびな うま 蝦名 宇摩 先生



原発事故で汚染された目に見えない恐怖、子どもたちへの影響、安心して過ごせる社会と環境の大切さを語られました。後半は力強くかつ繊細な三味線や尺八の演奏と唄を披露してくださいました。

【参加者感想】

- ・災害はその時だけではなく、ずっと影響し続けるものであることを再確認しました。そして、生活の質にまで大きく影響するため、広い視野での支援が必要であると改めて思いました。実際に体験、活動されている方から直接お話を伺うことで、報道とは違った理解の深まりがあるように感じました。
- ・福島の人たちが今なお不自由な生活をされていることに改めて思いをはせることができました。その人たちの支援をされている蝦名さん、小さな身体のどこからそんなアイデアやパワーがわいてくるのだろうかと思うほどすてきな人でした。今日の出会いを大切にしたいと思いました。



第2回人権教育講演会 R5.1.14

心豊かに・・・ ～パンフルートと歌で～

パンフルート製作・演奏家 いまい つとむ 今井 勉 先生



パンフルートの美しい音色と力強い歌声にのせて、ユーモアを交えながら東日本大震災の被災者訪問や自身の経験、亡き母との関わりから、心のつながりや人としての生き方、家族の大切さ等について語られました。心が豊かになる講演でした。

【参加者感想】

- ・軽妙な語りど、パンフルートの美しい音色、力強い歌声に時間もあっという間に過ぎました。人生いろいろなことがあります、前向きに明るい方向に物事を考え、音楽とか好きなものと共に少しずつでも歩いていくことが大切かなと思いました。
- ・真備で被災してから、自分の生きる価値が何だったのか、空っぽになった時期もありましたが、今井さんの生き方も人生を途中で修正して歩まれた事に共感できました。今は、自分のためにみんなの幸せのために心も身体も大切に生きようと思います。



であいと交流のまちづくり

菌幼稚園

やきいもパーティー

11月16日（水）晴天に恵まれ、未就園児6家庭と人権学習推進委員の方4名と保護者の方が参加していただき、やきいもパーティーを行いました。

地域の方に助けていただき、大切に育て収穫したサツマイモ。子どもたちみんなで洗ったり、包んだりと準備を頑張りました。どんな焼き芋に仕上がるか心配でしたが、「アツアツだー！」「おいし〜い！」などの声があちらこちらから聞こえ、幼稚園中が笑顔で一杯になりました。みんなで収穫の喜びを共有したくさんの温かい気持ちに触れることのできた、すてきな一日となりました。

ご協力いただきました、菌まちづくりの方々をはじめ、多くの皆様のおかげです。本当に、ありがとうございました。



菌小学校

人権教育の取り組み

菌小学校では、人権意識の向上や人権を尊重した環境づくりをねらいにして、年2回（6月と12月）「なかよし週間」を設けています。

12月は以下のような活動を行いました。

- 1 感謝の気持ちを伝える「ありがとうレター」
- 2 6月に考えた各学年の「人権宣言」を振り返り、どのように取り組んだのかを発表
- 3 人権にかかわる本の読み聞かせや紹介
- 4 「なかよし集会」（全校ゲームや合唱 など）

友達を思いやる言葉かけや感謝の言葉を多く聞くことのできた「なかよし週間」になりました。



各学年の「人権宣言」



仲間づくりゲーム

倉敷市人権問題講演会

「転んだら、どう起きる？」

俳優 うかじ たかし 宇梶 剛士 氏

令和5年1月29日（日）俳優の宇梶 剛士氏を講師に招き、倉敷市人権問題講演会が開催されました。アイヌ民族出身の母をもつ宇梶氏。挫折した高校時代、その後、暴走族の総長になり、少年院に収監され、そこで出会ったチャップリンの本をきっかけに立ち直り、役者を目指すようになります。役者修行時代の苦労や様々な人との出会い等についての経験をもとに、深く味わいのあるお話を聴くことができました。

倉敷まきび支援学校 奉仕活動

7月、10月、12月、2月の計4回、倉敷まきび支援学校高等部の生徒の皆さんが、真備公民館へ清掃活動に来てくれました。

今年が初めての生徒から、3年目を数える生徒もいます。さすがに経験のある生徒は、手際よく作業をこなしていきます。窓ふきと床磨きが中心ですが、約2時間の作業をどの生徒も一生懸命に丁寧に取り組んでいます。かなり年季の入った公民館ですが、清掃を終えた後は、館内が明るくなった感じがします。きっと、礼儀正しく、心を込めて活動している生徒の姿がそのように感じさせているのではないかと思います。生徒の皆さん、ありがとうございました。



倉敷市まびの道とのふれあい交流会



令和5年1月18日（水）倉敷市まびの道とのふれあい交流会を3年ぶりに開くことができました。参加者は少なめではありましたが、初めて中に入ったという人もいました。企業から請け負った作業（キャンドルや自動車部品）の様子を見ることもできました。見学後は参加者全員で、フラワーアレンジメントを作りました。酒賀所長さんが一つひとつ丁寧に説明していただき、皆思い思いのフラワーアレンジメントを仕上げることができました。まだまだ感染状況が落ち着かない状況だったため、交流活動の時間をあまり取ることはできませんでしたが、所内の見学や自作のフラワーアレンジメントを土産に持って帰ることができ、とても有意義なひとときを過ごせました。



合同研修会

令和5年2月5日(日)

2年ぶりに合同研修会を開催することができました。5人の児童・生徒による人権作文の発表では、各自がそれぞれの視点で人権を受け止め、自分の思いや考えをしっかりと伝えることができました。発表に続き、人権啓発用DVD「夕焼け」を視聴し、「ヤングケアラー」について研修を深めました。

【参加者感想】

- ・5名の発表を聞き、心が熱くなりました。5名の純粋な気持ちが真備町中、日本中、いや世界中に響き、平和で一人ひとりが大切にされることを切に願っています。
- ・DVD「夕焼け」は、現在の問題を様々に描いていて、考えさせられました。人それぞれ表に出てこない悩みは抱えています。身近につながる人が一人でもいれば道が開けていくのだと思います。こんな時代だからこそ、「つながる」って大切ですね。

人権作文発表者

真備陵南高等学校	3年	小上 結菜	「私の人生」
箭田小学校	6年	守屋 菜々穂	「SNSでも人権を大切に」
岡田小学校	6年	堀口 鈴	「見た目より中身が大事」
真備中学校	2年	田中 愛由実	「ウクライナ侵攻」
真備東中学校	2年	上田 紗椰	「『尊敬』『感謝』」



「尊敬」「感謝」

真備東中学校 二年 上田 紗椰

私の家族は六人家族で、にぎやかな家庭です。その中で私は、父にもありますが、特に「母」に尊敬の念を抱いています。その理由は、日々の生活の中にあります。

私の家庭は両親が共働きで、昼は基本的に家にいません。母はだいたい午後四時に帰宅して夜ご飯の準備をしてくれています。一度家に帰った後食材を買いにスーパーへ買い物に行き、それから六人分のご飯を作っています。私が部活動をしてお腹をペコペコに空かして帰っても、その頃にはいつもご飯ができています。私は温かいご飯を食べることができ、お腹がとても満たされます。飲食店で働く母の料理はとてもおいしく、食事の際はいつも幸せを感じています。私は、忙しくてもご飯を作ってくれる母の姿を、尊敬しています。しかし、それだけではありません。

私は習い事を二つしています。一つは習字、もう一つは塾です。習い事は毎週水曜日と土曜日にあります。私の母はそのどちらとも送迎をしてくれます。休日や夜の十時という遅い時間であっても迎えに来てくれます。さらに母はそのあと私の姉の送迎も行い、私達には感謝しかありません。また、私は中学校でバレーボール部に入部してから、休日に練習試合や、大会のある日が増えました。その分、母の送迎する回数も増えます。遠いところに行くとなれば、朝早く家を出ることもたびたびあります。そのため、朝ご飯を車の中で済ませることが多く、私は車の中で眠くなってしまふこともよくあります。その中でも母は欠かさ

ず送迎してくれます。私は、自分の時間を使って色々な場所に連れていってくれる母をすごいと思いました。そして、最後にもう一つあります。私が夏休みに入って少したったところから、私

私の祖母が新型コロナウイルス感染症にかかってしまい、同居している私達も自粛生活を送っていた時のことでした。数日たったところ、私は体がだるく頭痛があり、熱を測ると四十度近くあったため、病院で検査をしました。すると、コロナウイルスの陽性反応が出たため、父に電話をし、私も陽性者として自粛生活が始まってしまいました。当然私の家族は濃厚接触者になり一週間仕事も外出もできなくなりました。私は自分が感染症にかかってしまったことを責め、家族に謝りました。しかし、母は「別に謝らんでいいんだよ。」今は誰がなくてもおかしくないんだから。「着てくれました。その言葉で、私は心が軽くなりました。また、感染症にかかったタイミングが悪く、私は先輩方との最後のバレーボールも、大会にも行けなまま、ユニフォームを返すことになってしまいました。私はとても楽しみにしていたので、思わず泣いてしまいました。その時も母は「悔しいけど次の自分たちの代でがんばろ。」と温かい言葉をかけてくれました。私は二度も母に慰められ、元気づけられました。

このような経験があったから、母に感謝し、日々の生活の中でも尊敬する思いが生まれたのだと思います。だから、私は母のことが大好きです。そして、私も母のように、誰かを支え、その人に励みを与えられるような人になりたいです。これが私が母に思う今の気持ちです。

人権ポスター・人権標語

12月3日～11日

展示：真備公民館1階ロビー



川辺小 2年 長尾 要



川辺小 4年 岡野 紗菜



岡田小 5年 川上 和佳奈



岡田小 6年 豊島 百々花



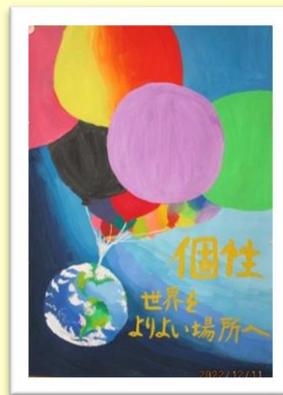
菌小 1年 中嶋 葵生



菌小 6年 山本 芽衣



真備東中 2年 花田 蒼太



真備東中 3年 加藤 蒼野



真備東中 3年 小森 未来

川辺小学校

2年 小野 晃大
6年 山根 実咲

ありがとう これからも いっぱい 言いたいな
悪口を 言ってる自分は どんな自分？

岡田小学校

5年 谷内田 陽愛
6年 守屋 穂乃花

助け合う その大切さ 考えよう
助け合い それは笑顔のための すてきな魔法

菌小学校

3年 徳田 心春
5年 本山 泰地

そのままのきみでいいんだよ ありのままのきみで
気をつけよう 一言一言 考えて

真備東中学校

1年 宮本 菜月
2年 巻田 葉太
3年 中島 悠那

笑ってる それはホントの 笑顔なの？
見てるだけ 傍観者でも いじめ側
助けよう 本当はあの子 泣いている